

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
470017	X-31-B-1-470017	2	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
基本情報処理演習1/基本情報演習1	本間 久文			【1-3年次生】経営情報学部経営学科	専門	選択	1年
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	選択	1年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	専門	選択	1年
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門	選択	1年		
<b>授業目的</b>							
基本情報技術者試験は、経済産業省が情報処理に関して必要な知識および技能について行う国家試験です。そのため、ソフトウェア開発等の情報産業に従事するための武器として必要不可欠な資格になります。本授業では、基本情報技術者試験の午前問題のための知識を理解・習得して、基本情報技術者試験の合格を目指すと共に、情報社会で活躍するための知識を学びます。なお、本授業科目は、後期に開講する基本情報処理演習2（基本情報演習2）を履修する場合の履修要件になりますので、必ず履修してください。							
<b>各回の授業内容</b>							
<b>第1回</b> 【授】 ・受講ガイダンス（情報処理技術者試験について） ・基礎理論（データ表現と演算、集合と論理演算） 【前・後】 授業内容の確認と復習 2時間 <b>第2回</b> 【授】 ・基礎理論（確率・統計、情報・通信理論、制御理論） 【前・後】 授業内容の確認と復習 2時間 <b>第3回</b> 【授】 ・アルゴリズムとプログラミング（データ構造、アルゴリズム） 【前・後】 授業内容の確認と復習 2時間 <b>第4回</b> 【授】 ・アルゴリズムとプログラミング（基本アルゴリズム、プログラミング） 【前・後】 授業内容の確認と復習 2時間 <b>第5回</b> 【授】 ・コンピュータ構成要素（プロセッサ、メモリ、補助記憶装置、入出力アーキテクチャ） 【前・後】 授業内容の確認と復習 2時間 <b>第6回</b> 【授】 ・システム構成要素（システム構成、システム性能評価） 【前・後】 授業内容の確認と復習 2時間 <b>第7回</b> 【授】 ・ソフトウェア（OS、ファイル管理、開発ツール、OSS、CG） 【前・後】 授業内容の確認と復習 2時間 <b>第8回</b> 【授】 ・データベース（データモデル、論理設計、関係演算） 【前・後】 授業内容の確認と復習 2時間				<b>第9回</b> 【授】 ・データベース（データベース言語、データベースの制御） ・ネットワーク（コンピュータネットワーク、OSI基本参照モデル） 【前・後】 授業内容の確認と復習 2時間 <b>第10回</b> 【授】 ・ネットワーク（LAN、WAN、インターネット） 【前・後】 授業内容の確認と復習 2時間 <b>第11回</b> 【授】 ・セキュリティ 【前・後】 授業内容の確認と復習 2時間 <b>第12回</b> 【授】 ・システム開発技術（開発手法、ソフトウェア設計、テスト、ソフトウェア保守と構成管理） 【前・後】 授業内容の確認と復習 2時間 <b>第13回</b> 【授】 ・プロジェクト・サービスマネジメント 【前・後】 授業内容の確認と復習 2時間 <b>第14回</b> 【授】 ・経営戦略・システム戦略 【前・後】 授業内容の確認と復習 2時間 <b>第15回</b> 【授】 ・企業と法務（企業組織、企業会計、経営工学、関連法規、標準化） 【前・後】 授業内容の確認と復習 2時間 <b>第16回</b> 【授】 ・定期試験（筆記）			
<b>成績評価方法</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>定期試験の結果（80点）、各回で実施する小テストの結果（10点）、授業態度・授業への参加（10点）の合計点を100点として評価します。</li> <li>各回では、講義及び過去問題による小テストを実施します。</li> </ul>							
<b>教科書・参考書</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>2020年版 基本情報技術者標準教科書（大滝みや子編、オーム社）</li> <li>講師が用意するプリント</li> </ul>							
<b>受講に当たっての留意事項</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>本スケジュールは目安であり、受講者の理解度等により、講義進度や内容が変更となることがあります。</li> <li>各回において問題演習が行われるので、講義内容は十分に理解するよう努めて下さい。</li> <li>基本情報技術者試験の過去問題はIPAのホームページから入手可能ですので、予習復習に利用してください。</li> </ul>							
実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性						アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施
○	長年にわたる情報処理技術者育成経験をもとに、基本情報技術者試験の合格を目指す学生を育成。						×
<b>学習到達目標</b>							
基本情報技術者試験の午前試験において、合格基準である6割以上の正答率を確保できる。							
JABEE							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習